

審査基準

●水道記念館展示物等設計業務

区分	配点 (基準点)	採点	項目	審査のポイント
A	40	/40	クイズコーナー (コイン集め)	<ul style="list-style-type: none"> ・館内の展示物をより多く体験する誘因となり得るか ・複数回来館しても飽きずに楽しめる内容になっているか ・来館者がコインを集めたくなるような工夫がされているか ・集めたコインやランキングが適切に確認できるようにしているか
B	40	/40	水抜き体験	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭での水抜きの方法について、実践的に体験できるような内容となっているか ・水抜き作業の成否がはっきりと認識できる内容になっているか ・水道管凍結の危険性について効果的に啓発できるものとなっているか ・展示はグラフィック的な陳腐さがなく、現実感があるか
共通①	30	/30	展示製作の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・水道や水について楽しく学べる内容となっているか ・遊びと学びの要素のバランスは適正か ・幅広い年齢層に対応しつつも、主な来館者層である小学生をメインターゲットとした展示か ・陳腐化の早い内容の展示や、館内の既存展示物と重複する展示内容を避けているか ・見た目の豪華さにとらわれ、水道事業の普及啓発という目的から逸する展示となっていないか ・既存の展示物との調和が図られているか
共通②	15	/15	業務体制等	<ul style="list-style-type: none"> ・業務に臨む組織体制が適切なものとなっており、予算面、工程面で無理のない計画になっているか ・類似業務の実績はあるか ・新たな展示は見積額に見合った提案内容か(金額の大小の評価ではない)
共通③	15	/15	保守管理・運用面	<ul style="list-style-type: none"> ・機器の電子化などのウェイトが大きすぎず、保守管理にはできるだけ経費や労力がかからないものとなっているか ・長期使用(目安10年)を前提とし、十分な耐久性を持ったものとなっているか ・運用上の安全面に問題はないか
合計	140 (84)	/140		